

1 児童対象アンケートの結果から

◎成果

「友達に思いやりの心をもって接している（友達を大切にしている）。」【設問6】、「登下校や日々の生活の中で、交通安全に気をつけている。」【設問9】、「安心して学校生活を送ることができる。」【設問10】は、肯定的な評価が9割を超えていた。

- ・【設問6】については、本校の重点目標のひとつである「一人ひとりの思いや願いを認め合い、高めあう集団づくりを推進し、豊かな人間関係を育む心の教育と特別支援教育の充実を図る」ことの達成に向けて、授業はもちろん学級での係活動や縦割り班での掃除の取組などを通して、互いを思いやる心が育ってきていることを多くの子ども達が感じているためではないかと考える。
- ・【設問9】については、スクールガードの方々をはじめ、地域や保護者の皆様のご協力により、児童が安全に登下校していることを実感できているためと考える。
- ・【設問10】については、学習や生活の指導における教職員の働きかけが一定の効果をあげ、子どもたちが安心して過ごすことができる環境を提供することができているためと考える。

■課題と今後の取組

「宿題や自主学習など、家庭学習に毎日（1，2年：20分、3，4年：40分、5，6年：60分）とりくんでいる。」【設問3】は肯定的な評価が8割に届かなかった。また、「地域の行事や活動に参加（見学を含む）している。」【設問12】はすべての設問の中で、最も肯定的な評価の割合が低かった。

- ・【設問3】については、宿題や自主学習に毎日取り組んでいる児童もいる反面、家庭学習に取り組むことができていない児童が一定数見られるようである。家庭学習の習慣は小学校にとどまらず、今後学習を進めていく上で大切であり、中学校と連携を図りながら、その定着に向けての働きかけを推進しているところである。また、家庭学習の意味や学習習慣を身につけていくことの大切さを、保護者の方とも協力しながら、粘り強く指導していきたい。
- ・【設問12】については、これまではコロナ禍の影響を強く受けていたこともあると思われるが、今後より積極的な参加につながるように、情報提供などを工夫して行っていきたい。また、学校の教育活動において、地域や地域の方々について学ぶ学習を進めて地域に対する理解、そしてつながりを深め、子どもたちの地域の行事や活動への参加を促していきたい。

2 保護者対象アンケートの結果から

◎成果

「お子様は、積極的に授業に参加している。」【設問2】、「学校は、いっしょうけんめい掃除に取り組むよう指導し、美しい環境や豊かな人間性を育てている。」【設問8】、「学校は、スクールガードや地域の方、保護者と連携し、児童の安全管理や教育に努めている。」【設問10】、「学校は、学級通信や学年だより、学校だより、メール配信など、積極的な情報発信に努めている。」【設問11】で、肯定的な評価が9割を超えていた。

- ・【設問2】については、授業参観におけるお子様の様子を見ていただいたり、日頃からの会話から学校での様子を聞き取っていただいたりした上で、授業への参加状況を肯定的に受け止めていただいた成果と考える。
- ・【設問8】については、日頃の清掃に加えて縦割り清掃、委員会活動、通学路清掃など、学校における環境美化への取組を評価していただいた結果と考える。
- ・【設問10】については、スクールガードをはじめとする地域や保護者の方々との連携・協力が進んでいることの成果が現れていると考える。
- ・【設問11】については、学校生活の様子などについて、学校や学年、学級の各種たよりを通じて、プリントやメール、ホームページで積極的に発信していることを、肯定的に受け止めていただいた結果であると考え。

■課題と今後の取組

「学校は、道徳の授業や話し合い活動などで児童の豊かな心を育てたり、アンケートと相談活動を行ったりして、いじめの根絶に取り組んでいる。」【設問5】では、肯定的な評価が7割と比較的少なく、「わからない」との回答が17.6%と全設問の中で最も多かった。また、「お子様は、地域の行事や活動に参加（見学を含む）し、地域の人と交流を深めている。」【設問12】は、肯定的な意見が6割を切り、全設問の中で最も低い割合となった。

- ・【設問5】については、学校の取組が保護者の皆様に十分に周知されていない可能性がある。毎週いじめに関するアンケートを実施していること、担任はもちろんその他の教員に相談するシステムがあること、参観日には「人権教育」に特化した授業を行うようにしていることなど、学校の取組を積極的に発信するように努めていきたい。また、いじめの根絶をめざして、早期発見・早期解決に取り組んでいく姿勢を継続していきたい。
- ・【設問12】については、これまではコロナ禍の影響を強く受けていたことも原因にあると思われる。今後は、昨年度までと状況が変わったこともあり、積極的な情報提供を行ったり、学校の教育活動においても地域や地域の方々について学ぶ学習を推進したりすることで、子どもたちの地域の行事や活動への参加を促していきたい。

3 地域の方対象アンケートの結果から

◎成果

「児童は、登下校中に交通安全に気をつけている。」【設問2】、「学校への協力や訪問には抵抗がない。」【設問4】、「学校は学校公開日や学校日より、ホームページ、正門前の掲示板などを利用して、学校や児童の様子を積極的に情報発信している。」【設問5】は、肯定的な評価が9割を超えていた。

- ・【設問2】については、スクールガードの方々をはじめとする地域の方々に見守られることで、大きな成果が現れている。また学校でも、KYT（危険予測学習）など具体的な指導を継続していることから、成果が現れていると考える。
- ・【設問4】については、本校に興味をもち、協力しようと思ったださる地域の方々が多くおられ、「コミュニティ・スクール」や「あったかネット」など、地域とともにある学校づくりについて理解を深めていただいている様子が伺える。
- ・【設問5】については、地域の方々が本校の教育活動に高い関心を寄せ、学校から情報発信を積極的、また肯定的に受け止めていただいた結果と考える。全校や学年等の取組を伝える各種便りや学校ホームページなどをさらに充実させ、継続して情報を発信していきたい。

■課題と今後の取組

「児童は、地域の行事や活動によく参加（見学を含む）している。」【設問6】が、全設問の中で肯定的な評価が7割程度で最も低い割合であった。また、「児童は、よくあいさつをしたり、あいさつを返したりしている。」【設問1】は肯定的な評価は8割を超えているが、「そう思う」の回答割合は1割を超えた程度にとどまり、全設問中最も低い割合であった。

- ・【設問6】については、ここ数年のコロナ禍の影響が大きいと考える。今後は、昨年度までとは状況が変わったこともあり、積極的な情報提供を行ったり、学校の教育活動においても地域や地域の方々について学ぶ学習を推進したりすることで、子どもたちと地域のつながりを深め、地域の行事や活動への参加を促進していきたい。
- ・【設問1】については、肯定的な意見が多く見られるものの、地域の方と児童や保護者とでは評価結果が異なっており、まだまだ認識の違いが見られる。今後も、子どもたちが地域の方々と「自分から」「明るく」「元気に」「大きな声で」よりよいあいさつができるよう、家庭の協力を得ながら指導を継続していきたい。